令和６年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和６年　９月　６日

１．団名

衆議院欧州各国における教育、科学技術、文化芸術及びスポーツ振興に関する調査議員団

２．目的

欧州各国における教育、科学技術、文化芸術及びスポーツ振興に関する調査のため

３．派遣議員団

団長	文部科学委員会	委員長	田野瀬　太　道（自民）
	文部科学委員会	理　事	永　岡　桂　子（自民）
	同	理　事	牧　　義　夫（立憲）
	同	理　事	中　村　裕　之（自民）
	同	委　員	宮　本　岳　志（共産）
同行	委員部第五課課長補佐		沼　野　雄　太

４．派遣期間

令和６年８月１８日（日）から２４日（土）までの７日間

５．派遣国

デンマーク王国、スウェーデン王国、フィンランド共和国

６．主な調査内容

（１）デンマーク王国

① デンマーク児童・教育省を訪問し、現地の教育政策の実情について調査するため、関係者と意見交換を行った。

② デンマーク議会を訪問し、教育・科学技術・文化芸術・スポーツ分野について調査するため、議会関係者と意見交換を行った。

（２）スウェーデン王国

① ルンド大学を訪問し、現地の高等教育及び科学研究の実情について調査するため、視察及び大学関係者との意見交換を行った。

② アクシス・コミュニケーションズを訪問し、現地の科学研究の実情を調査するため、視察及び関係者との意見交換を行った。

③ イデオン・サイエンスパークを訪問し、現地の科学研究の実情を調査するため、視察及び関係者との意見交換を行った。

④ ＭＡＸ　ＩＶを訪問し、現地の科学研究の実情を調査するため、視察及び関係者との意見交換を行った。

（３）フィンランド共和国

① エンターエスポーを訪問し、現地の産学連携に関する取組の実情について調査するため、関係者との意見交換を行った。

②フィンランド・日本友好議員連盟会長を訪問し、日本・フィンランド間の関係について意見交換を行った。

③ ヘルシンキ大学を訪問し、現地の高等教育及び科学研究の実情について調査するため、視察及び大学関係者との意見交換を行った。

④ ＦＭＩ（フィンランド気象局）を訪問し、現地の科学研究の実情について調査するため、視察及び関係者との意見交換を行った。

⑤ フィンランド教育・文化省を訪問し、現地の教育政策の実情について調査するため、関係者と意見交換を行った。

⑥ 国立ＬＵＭＡセンターを訪問し、現地の教育政策の実情について調査するため、視察及び関係者との意見交換を行った。

⑦セウラサーリ野外博物館を訪問し、現地の文化政策の実情について調

査するため、視察及び関係者との意見交換を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。